

在宅緩和ケアとちぎ「夏季研修会」2017

～地域包括ケアを目指した在宅医療推進・多職種連携～

7月1日（土）

15：30～18：00（受付開始：15：00）

15：30～ 講演1
コミュニケーション

16：30～ 講演2
訪問看護ステーション
～栃木県の現状と今後

17：15～ 討論
在宅医療におけるモルヒネ
持続皮下注 PCA ポンプ
～県内普及の戦略と戦術～

講演1 講師

儀賀理暁さん



埼玉医科大学総合医療センター
呼吸器外科・緩和ケア推進室

「人の気持ちは分からない、でも、分かってやうとすることはできる。」対人支援の現場においてこの言葉が意味するところを皆さんと一緒に考えたいと思います。

講演2 講師

河野順子さん



前栃木県看護協会会長
栃木県訪問看護ステーション協議会会長

高齢化の進展に伴い在宅療養者の増加が見込まれているなかで在宅医療の提供体制のかなめとして訪問看護の果たす役割はますます重要なものとなっていると認識している。現状は慢性的な人材不足があり訪問看護の提供サービスや必要性・役割について県民の認識も高くない。また、医療者や介護関係者からの理解不足による利用需要の伸び悩み等課題はある。28年度訪問看護ステーション基礎調査をもとに現状と今後を報告したい。

討論 パネラー

石川和由さん 大橋眞次さん

那須赤十字病院
緩和ケア科

ハーモニー薬局

稲見正幸さん 粕田晴之さん

済生会宇都宮病院
緩和ケア薬物療法認定薬剤師

済生会宇都宮病院
緩和ケア科

医療・介護関係者に限らず、一般の方にも聴いていただける内容です。

ろまんちっく村 ヴィラ・テ・アグリ(宿泊・温泉等)内
地下第一研修室(定員 80名)

◎ 事前申し込みにご協力ください。当日現地での申し込みもお受けいたします。

FAX 送信用

代表者名： _____ ご年齢： _____ ご職業： _____
e-mail： _____ 申し込み人数： _____ 名

E-mail： murai_za@yahoo.co.jp 問い合わせ：村井クリニック 地域連携推進室 鈴木

FAX 028-621-1514 (電話 028-643-0332)

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団